

## 【発表演題】

「転写因子 c-Maf による CD169 陽性マクロファージの形質制御」

## 【演者】

○菊池 健太、田中 正人、浅野 謙一  
東京薬科大学生命科学部 免疫制御学研究室

## 【学会名】

日本生化学会関東支部会

## 【日時・場所】

2017年6月17日・東京

## 【ハイライト】

- ・腸管に存在する CD169 マクロファージは、CCL8 を産生し腸炎を増悪する。
- ・転写因子 c-Maf は CD169 マクロファージの急性炎症応答に必須である。
- ・転写因子 c-Maf は酸化ストレスのマスター転写因子 Nrf2 を抑制する。
- ・CD169 マクロファージは、c-Maf の発現量を調節し、炎症促進的な形質から組織保護的な形質に転換する。

